

ユーザーズガイド

L1730SF

本製品をご使用になる前に、必ず『Important Precautions(重要な注意事項)』をお読みください。ユーザーズガイド(CD)は、いつでも参照できる場所に保管してください。

背面のラベルには、販売店にサービスを依頼する際に必要な情報が記載されています。

本製品は、お客様の安全を第一に考えて設計し製造されておりますが、間違った使い方をすると感電したり火災を発生させる危険性があります。このディスプレイに組み込まれた安全装置を損なわないように、必ず、設置、使用、サービスについての以下の基本的な注意事項を守ってください。

安全上のご注意

電源コードには、必ず本製品付属のものを使用してください。万が一別の電源コードを使用する場合は、購入された店に問い合わせるか、または国内基準を満たしているか確認してください。電源コードに不良の箇所があれば、メーカーまたは最寄のサービスセンターに連絡して交換してください。

電源コードは、独立した主要デバイスとして使用します。設置した後で、コンセントを簡単に抜き差しできることを確認してください。

ディスプレイは、この取扱説明書の仕様に記載されている電源、またはディスプレイに記載されている電源を使用してください。使用している電源のタイプがわからない場合は、販売店にお問合せください。

一つのコンセントにその容量を超えるような電気製品を接続すると危険です。また、傷んだコードや破損したプラグも危険です。このような電源コードは感電や火災を起こす危険性があるので、サービスセンターに連絡して交換してください。

ディスプレイは絶対に分解しないでください。

- ディスプレイの内部には手を触れないでください。
- ディスプレイの内部には、電源を切っているときでも危険な高電圧が流れています。
- ディスプレイが正常に動作しない場合は、販売店に連絡してください。

事故防止のために、以下の注意事項を守ってください。

- しっかりと固定できる場合を除き、ディスプレイを傾斜面に置かないでください。
- スタンドには必ずメーカーが推奨するものをお使いください。

火災その他の危険を防ぐために、以下の注意事項を守ってください。

- ディスプレイを使用している部屋をしばらくの間空ける場合には、必ずディスプレイの電源を切ってください。決してディスプレイの電源をオンにしたまま留守にしないでください。
- ディスプレイのキャビネットの孔から中に物を落したり押し込んだりしないでください。内部には危険な高電圧が流れている部品があります。
- このディスプレイ用に設計されている部品以外は使わないでください。
- 雷が鳴っている間や、長期間に渡ってディスプレイを使用せずに放置する場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

設置上のご注意

電源コードの上に物を置いたり、電源コードを踏んだりしないようにしてください。また、電源コードが破損しやすい場所にはディスプレイを設置しないでください。

浴室、洗面所、台所の流し、洗濯機の近くや湿った地下室、プールの近くなど、水が近くにある場所ではディスプレイを使用しないでください。

ディスプレイのキャビネットには通風孔があり、使用中に発生した熱を逃がすようになっています。この通風孔をふさいだりすると、熱がたまって故障したり、火災の原因となる危険性があります。以下の注意事項は必ずお守りください。

- ディスプレイをベッドやソファ、カーペットなどの上に置いて、下部の通風孔をふさがないでください。
- 適切な通風が確保できないビルトインタイプのラックには、ディスプレイを置かないでください。
- 布などで通風孔を覆ったりしないでください。
- 暖房器具や熱源の上または近くには、ディスプレイを置かないでください。

アクティブマトリックスLCDを堅い物で拭いたり、叩いたりしないでください。アクティブマトリックスLCDに傷が付いたり、破損したりする場合があります。

LCD画面に指を強く押し付けたりしないでください。残像が生じる原因になる場合があります。

画面に赤色、緑色、または青色の点が表示される場合があります。これは、ドットの欠陥によるもので、製品の性能には影響しません。

推奨する解像度をご使用になると、LCD画面は最高の画質が得られます。推奨する解像度以外をご使用になると、画像の大きさなどが調整されて表示される場合があります。これは、固定解像度のLCDパネルが持つ特性によるものです。

お手入れのしかた

- パネル面の汚れを取るときには、ディスプレイの電源コードを抜いてください。
- 軽く湿らせた（十分に水気を切った）布を使います。スプレー式の洗浄液を直接パネル面に吹きかけたりしないでください。液をかけすぎると、感電する可能性があります。

再梱包

- 外箱と梱包材は、ディスプレイを輸送するときには必要となるので、捨てないでください。ディスプレイを別の場所へ輸送するときには、購入したときに梱包に使われていた外箱と梱包材を使用して梱包しなおしてください。

安全な廃棄

- 本製品で使用されている蛍光ランプには、少量の水銀が含まれています。
 - 本製品を一般の家庭ゴミとともに廃棄しないでください。
- 本製品の廃棄は、お住まいの地域の法令に従って行ってください。

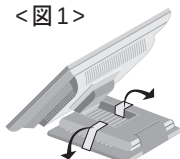
ディスプレイの接続

- モニターをセットアップする前に、モニター、コンピュータ、およびその他の接続されている周辺機器の電源がオフになっていることを確認してください。

ディスプレイの設置

1. テープをはがします。

<図1>



下図1のように装置を設置して、テープをはがしてください。

<図2>

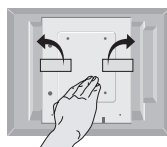
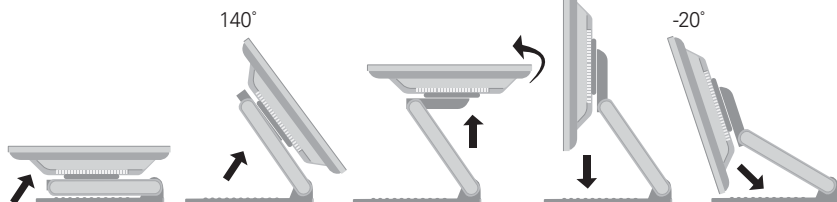


図2のように装置の前面を下にしてテープをはがしてください。スタンド部分が跳ねあがって付けがすることがあります。

2. パネルが最も快適に使用できるように位置を調節します。

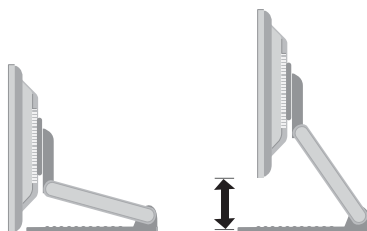
- 傾斜角度： -20° ~ 140°



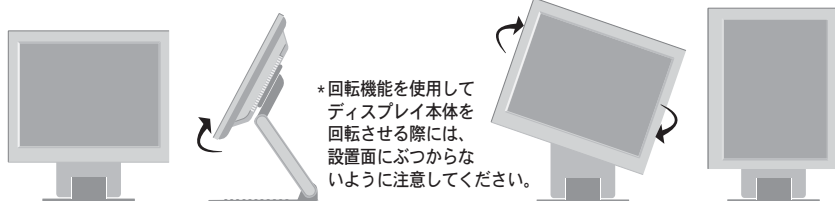
人間工学上の注意

人間工学的にも快適な視認のためにも、モニターの傾斜角度が5度をこえないようにすることをお勧めします。

- 高さ：最大 2.41 インチ (61.3 mm)



- 横向きと縦向き：パネルは 90° 時計回りに回転できます。
(* 詳しい情報については、付属の Pivot Software CD を参照してください。)



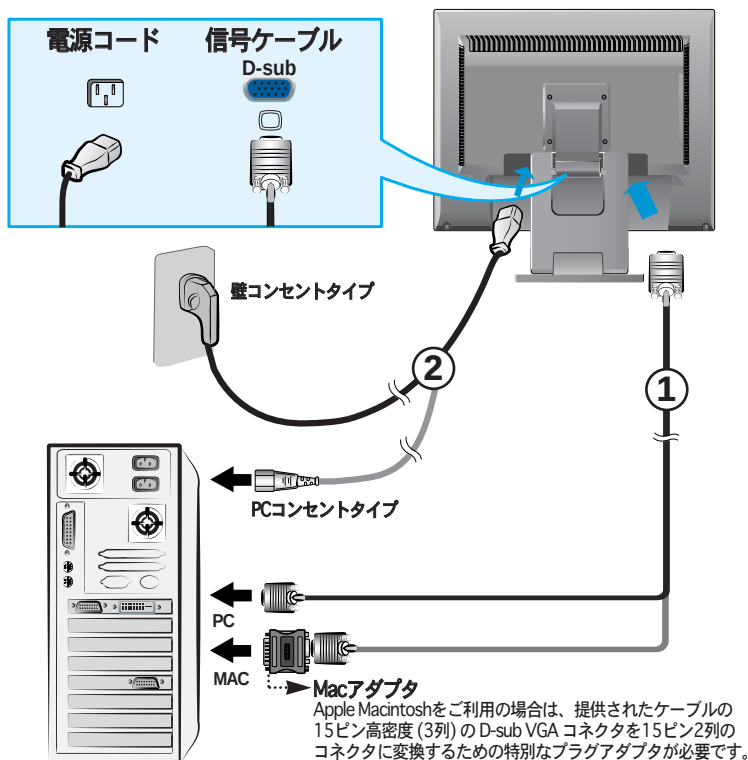
* 回転機能を使用してディスプレイ本体を回転させる際には、設置面にぶつからないように注意してください。

コンピュータの使用

1. 信号ケーブルを接続します。接続できたら、両方のネジを締めてしっかり固定してください。①
2. 電源コードを、ディスプレイの近くの簡単に抜き差しできる場所にあるコンセントに正しく挿入してください。②

注意

- これは背面図を簡単に表しています。
- この背面図は、一般的なモデルを表しています。ご使用のディスプレイとは異なる場合があります。



3. フロント・スイッチ・パネルの  ボタンを押して電源をONにします。モニターの電源が入ると'自動画像設定機能'が自動的に実行されます。(アナログモードのみ)

自動画像設定中

注意

'自動画像設定機能'とは? : この機能はオプションのディスプレイ設定を提供します。モニターを初回接続したときに、この機能が自動的に動作して個々の入力信号に応じた最適なオプション設定にディスプレイを調節します。使用中にモニターを調節したい場合、あるいは、この機能を手動で再度、動作させたい場合は、モニター・フロント・パネルの"AUTO"ボタンを押してください。あるいは、OSD調節メニューの"リセット"オプションを実行することもできます。しかし、このオプションを実行した場合、"言語"以外の全てのメニュー・アイテムが初期化されますので注意してください。

タッチスクリーンの使用方法

製品に付属のドライバインストール CD を用意して設置してください。



製品に付属の
ドライバインストール CD を
用意してください。

ITM用のタッチスクリーンドライバ

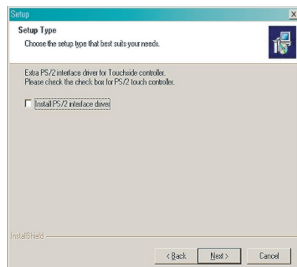
1. ITM タッチスクリーン用のドライバインストール CD を挿入します。
2. 詳細や使用方法については、タッチスクリーンソフトウェアインストール CD を参照してください。
3. ドライバをインストールしたら、タッチスクリーン用の USB ケーブルまたは RS-232C ケーブルを接続します。
 - * ソフトウェアドライバがサポートしている Microsoft Windows オペレーティングシステムは、次のとおりです。
: Windows 95/98/Me、NT 4.0

Hantouch 用のタッチスクリーンドライバ

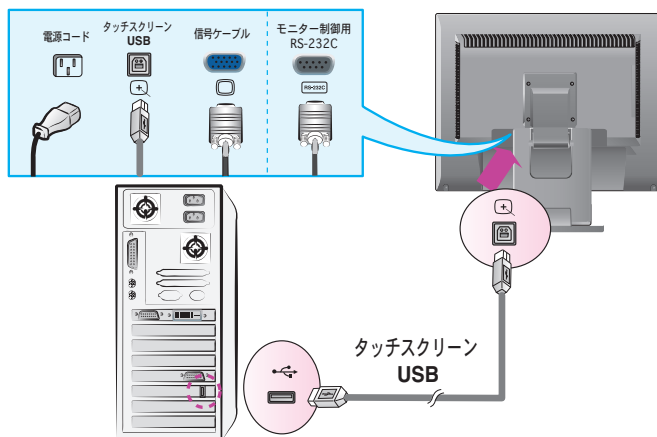
1. ドライバをインストールする前に、タッチスクリーン用の USB ケーブルまたは RS-232C ケーブルを接続します。
2. Hantouch タッチスクリーンドライバインストール CD を挿入します。
3. 「My Computer (マイコンピュータ) -> LG Driver (LG ドライバ) -> Drivers (ドライバ)」の順に展開し、ご使用の OS に合ったドライバを選択します。
4. 詳細については、製品に付属のタッチスクリーンソフトウェアインストール CD に収録されているインストールマニュアルを参照してください。
 - * ソフトウェアドライバがサポートしている Microsoft Windows オペレーティングシステムは、次のとおりです。
: Windows 95/98/Me、NT 4.0

他の OS の場合のインストールの詳細については、ドライバインストール CD を参照してください。

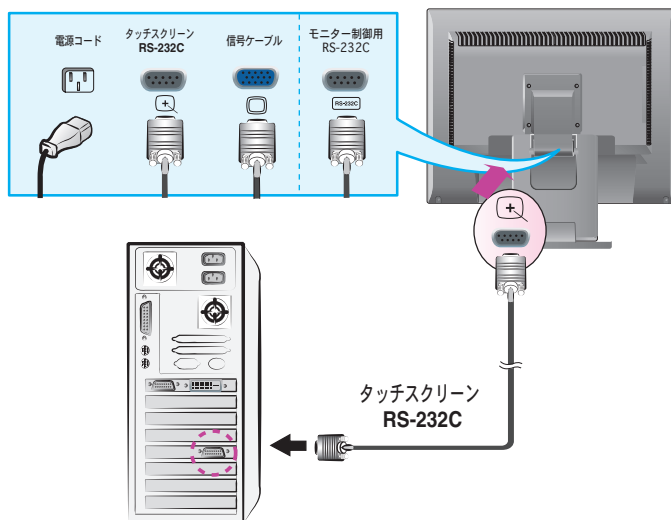
* Hantouch 用のタッチスクリーンドライバをインストールするときに、「install PS/2 interface driver (PS/2 インタフェースドライバをインストールする)」を選択しないでください。



< タッチ スクリーン用の USB ケーブルを接続する >



< タッチ スクリーン用の RS-232C ケーブルを接続する >



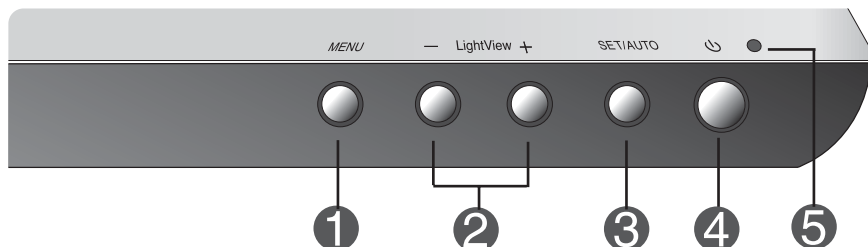
注意

- 製品や付属品は、マニュアルの図とは外観が異なる場合があります。

フロントパネルのコントロール



ボトム



コントロール	機能
1 MENUボタン  	このボタンはオンスクリーンディスプレイ (OSD) の起動や終了に使用します。 OSD ロック/ロック解除 この機能により現在のコントロールの設定をロックするため、不注意に変更してしまうことがありません。 MENU ボタンを 5 秒間押し続けてください。"OSD ロック"(OSDがロックされています)というメッセージが表示されます。 MENU ボタンを 5 秒間押し続けると OSD コントロールをアンロックできます。"OSD ロック解除"(OSDがアンロックされています)というメッセージが表示されます。
2 - + ボタン  	このボタンで On Screen Display (オン・スクリーン・ディスプレイ) の機能を選択し調節します。 LightView (ライトビュー) ホット・キー 日 中 この機能で、周囲の環境にあった最適な画像の状態 (光度、画像の種類など)を容易に選択できます。 夜 • DAY(昼間): 明るめの光度 • NIGHT(夜間): 暗めの光度 • TEXT(テキスト): テキスト画像用(ワードプロセッサなど) • MOVIE(動画): ビデオまたは映画の動きのある画像用 • PHOTO(写真): 写真または絵画用 • NORMAL: ノーマル (通常) のモードで動作します。

コントロール	機能
③ SET/AUTO ボタン 	このボタンはオンスクリーンディスプレイで選択を行うときに使用します。 自動画像調整 表示設定を調整する場合は、まずSET/AUTOボタンを押してから、オンスクリーンディスプレイを起動してください。これにより、表示画像が、現在の画面解像度（ディスプレイモード）に合う最適な設定に自動調整されます。 最良の表示モードは以下の設定です。 ・17 インチ・モニター：1280x1024
④ 電源ボタン	このボタンは、ディスプレイのオン/オフに使用します。
⑤ 電源インジケータ	このインジケータは、ディスプレイが正常に動作しているときに青色に点灯します（オンモード）。ディスプレイがスリープモード（省電力モード）のときは、この表示色はアンバー(黄色)に変わります。

画面の調整

ディスプレイの画像の大きさ、位置、動作パラメータの調整は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) コントロールシステムを使用して、すばやく簡単に行うことができます。次に、各コントロールの使い方について実例を説明します。次のセクションは、OSD を使用して実行できる調整と選択について簡単に表しています。

注意

- 画像調整を行う際は30分以上通電してから行ってください。

OSD調整を行う場合は、次の手順に従います。

MENU → - + → SET/AUTO → - + → MENU

- 1 MENU ボタンを押すと、OSDのメインメニューが表示されます。
- 2 変更するコントロールを - ボタンまたは + ボタンで選択してハイライト表示してから、SET/AUTOボタンを押します。
- 3 イメージのレベル調節は+/- ボタンを押します。他のサブメニュー項目の選択は SET/AUTOボタンを押します。
- 4 他の機能を選択するには MENU ボタンを一度押しメイン・メニューに戻ります。MENU ボタンを2 度押すと OSD から抜け出ます。

自動保存

OSD を開いた状態で、調節を行ったら、メニューを終了したり他のメニューを開いても、モニタはその調節を自動的に保存します。調節を行い、OSD が消えると、その調節も保存されます。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) による選択と調整

次の表に、オンスクリーンディスプレイのコントロール、調整、および設定のメニューを示します。

メインメニュー	サブメニュー			説明
PICTURE	明るさ		●	画面の明るさとコントラストを調整します。
	コントラスト		●	
	GAMMA		●	
カラー	プリセット	6500K	●	画面の色をカスタマイズします。
		9300K	●	
	赤		●	
	緑		●	
	青		●	
位置設定	水平		●	画面の位置を調整します。
	垂直		●	
トラッキング	周波数		●	画面の明度と安定度を改良します。
	フェーズ		●	
設定	言語		●	ユーザーの操作環境用に画面ステータスをカスタマイズします。
	OSD 位置	水平	●	
		垂直	●	
	ホワイト バランス		●	
	電源インジケータ		●	
	リセット		●	
	SET ID		●	

●：調整可

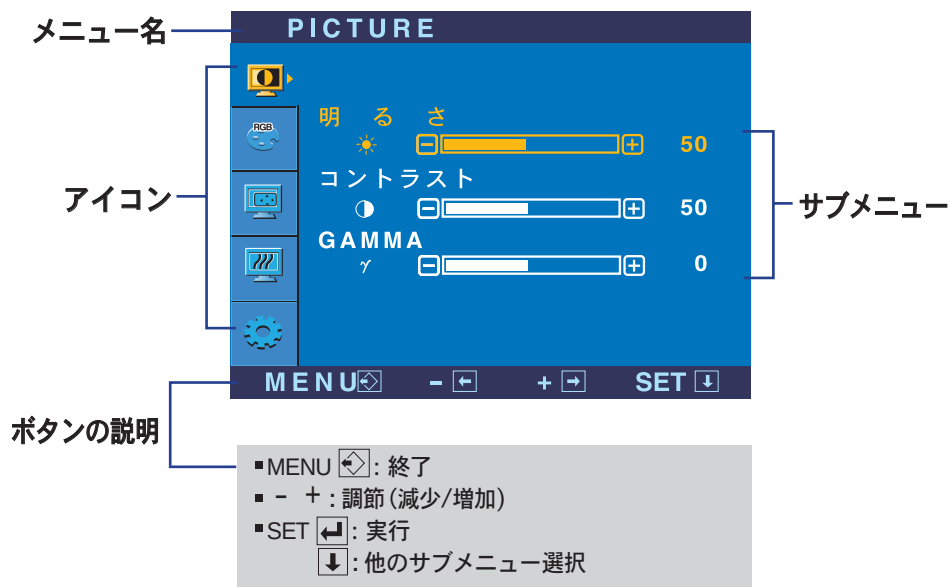
注意

- アイコンの順序は、モデルによって異なります (J10~J13)。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) による選択と調整

OSDシステムを使用した項目の選択と調整の手順について説明します。前述の「メニュー」に示された各項目のアイコン、アイコン名、アイコンの説明は次の表のとおりです。

MENUボタンを押すと、OSD のメイン・メニューが表示されます。



* Forte Manager (フォルテ マネージャ) を使用して、ディスプレイ画面の調整や制御が行えます。さらに詳しくは、Forte Manager Software (フォルテ マネージャ ソフトウェア)CD 内にあるマニュアルを参照してください。〔(接続は本誌J19を参照)〕

注意

- モニター上に表示されるOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューの言語は、マニュアルと異なることがあります。

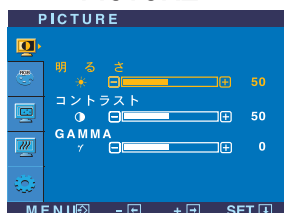
オンスクリーンディスプレイ (OSD) による選択と調整

メインメニュー

サブメニュー

説明

PICTURE



明るさ

画面の明るさを調整します。

コントラスト

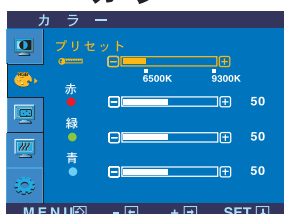
画面のコントラストを調整します。

GAMMA

独自のガンマ値を設定します -50/0/50。
モニタでは、高いガンマ値にすると白っぽい画像になり、低いガンマ値にするとコントラストの強い画像になります。

- MENU : 終了
- - : 減少
- + : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択

カラー



プリセット

画面の色を選択します。

- 6500K: 赤みがかったホワイト。
- 9300K: 青みがかったホワイト。

赤

個別に赤色レベルを設定します。

緑

個別に緑色レベルを設定します。

青

個別に青色レベルを設定します。

- MENU : 終了
- - : 減少
- + : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択

位置設定



水平

画像を左右に移動させます。

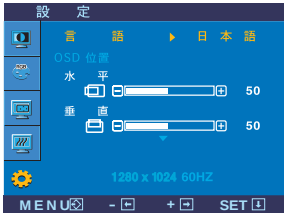
垂直

画像を上下に移動させます。

- MENU : 終了
- - : 減少
- + : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択

オンスクリーンディスプレイ (OSD) による選択と調整

メインメニュー	サブメニュー	説明
トラッキング		
	周波数	画面バックグラウンドに表示できるすべての垂直バーまたは垂直ストライプを最小化します。水平画面のサイズも変更されます。
	フェーズ	画面の焦点を調整します。この機能は、水平ノイズを取り除いて、文字画像を鮮明にします。
■ MENU : 終了 ■ - : 減少 ■ + : 増加 ■ SET : 他のサブメニュー選択		

設 定		言語	コントロール名を表示する言語を選択します。
		OSD 位置	OSDウィンドウの位置を調整します。
		ホワイトバランス	ビデオ・カード出力が要求仕様と異なる場合、ビデオ信号に歪を生じてカラー・レベルが低下する可能性があります。この機能を用いると、ビデオ・カード標準出力レベルに合うように信号レベルが調節され、最適画像が得られます。スクリーンに白色や黒色が表示されている状態で、この機能を動作させてください。それでもスクリーン画像が改善しない場合は、ファクトリー・デフォルト設定に戻してください。そして必要に応じて、このホワイト・バランス機能を動作させてください。この機能は入力信号がアナログ信号のときに限り使用可能です。
		電源インジケータ	この機能は、モニターの前面にある電源インジケータのオン、オフを切り換えます。OFF (オフ) に設定すると、オフになります。オンに設定すれば、いつでも電源インジケータはすぐにオンになります。
		リセット	「言語」以外の工場出荷時の設定にすべて戻します。すぐにリセットするには、 + ボタンを押します。
		SET ID	ディスプレイとして数台のモニターを使用するには個別に SET ID NOを設定できます。— + ボタンとイグジットで番号を0～99で指定します。SET IDを使ってモニター操作プログラムで各モニターを個別に管理できます。

サービスに連絡する前に、次の内容を確認してください。

画像が表示されない

ディスプレイの電源コードが接続されていますか？

- ・電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうか確認してください。

電源インジケータが点灯していますか？

- ・電源ボタンを押してください。

電源が入り、電源インジケータが青色または緑色に点灯していますか？

- ・明るさとコントラストを調整してください。

電源インジケータが黄色ですか？

- ・ディスプレイが節電モードになっている場合は、マウスを動かすか、またはキーボードのいずれかのキーを押して画面を起動してください。
- ・PCの電源をオンにしてください。

画面に "アウトオブレンジ" というメッセージが表示されますか？

- ・このメッセージは、PC (ビデオカード) からの信号がディスプレイの水平または垂直の周波数レンジを超えた場合に表示されます。この説明書の「仕様」の箇所を参照し、パソコンの表示解像度や周波数を設定しなおしてください。

画面に "チェックシグナルケーブル" と表示されますか？

- ・このメッセージは、PCとディスプレイ間の信号ケーブルが接続されていない場合に表示されます。信号ケーブルを確認して、もう一度試してください。

画面に "OSD ロック" メッセージが表示されていますか？

MENU ボタンを押すと "OSD ロック" が表示されますか？

- ・現在のコントロールの設定を確保できるため、不注意に変更してしまうことはありません。
MENU ボタンを 5 秒間押し続けると **OSD** コントロールをアンロックできます。
'ロック解除' というメッセージが表示されます。

表示画像が正しくない

表示位置が正しくありません。

- ・ **SET/AUTO**ボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまく行かない場合は、オンスクリーンディスプレイにある水平位置のアイコンや垂直位置のアイコンを使用して、画像位置を調整します。
- ・ パソコンのWindows設定にてコントロールパネル → 画面 → 設定で周波数 と解像度が変更されていないか確認してください。その場合、ビデオカードを推奨されている解像度に設定し直してください。

画面バックグラウンドに垂直バーや垂直ストライプが表示されます。

- ・ **SET/AUTO**ボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまく行かない場合は、オンスクリーンディスプレイにある**周波数**アイコンを使用して、垂直バーや垂直ストライプを小さくします。

画像や文字中出现する水平ノイズが鮮明に表示されません。

- ・ **SET/AUTO**ボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまく行かない場合は、オンスクリーンディスプレイにある**フューズ**アイコンを使用して、水平バーを小さくします。
- ・ パソコンのWindows設定にてコントロールパネル → 画面 → 設定でディスプレイが推奨されている解像度に設定され、画面が適切に表示されていることを確認してください。色の設定は、24ビット(True Color)以上にしてください。

画面の色が白黒または正常でない

- ・ 信号ケーブルが正しく接続され、必要ならばネジ止めされているかどうか確認してください。
- ・ ビデオカードスロットに正しく装着されているか確認してください。
- ・ パソコンのWindows設定にてコントロールパネル → 設定で、色を24ビット(True Color)以上に設定してください。

画面が点滅する。

- ・ 画面がインターレースモードに設定されているかどうか確認してください。その場合、推奨されている解像度に設定し直してください。
- ・ 電圧が十分に供給されていることを確認してください。電圧はAC100-240V、50/60Hz必要です。

ディスプレイのドライバをインストールしていますか？

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">●ディスプレイのドライバをインストールしていますか？●"モニターを認識できません。Plug&Play(VESA DDC)モニターが検出されました"というメッセージが表示されていますか？ | <ul style="list-style-type: none">・ディスプレイに付属しているディスプレイドライバCD (またはフロッピー) からディスプレイのドライバをインストールしてください。または、Webサイト http://www.lge.com からドライバをダウンロードすることができます。・ビデオカードがプラグ&プレイ機能をサポートしているか確認してください。 |
|---|--|

タッチ スクリーンが動作しない。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">●タッチ スクリーンのドライバをインストールしましたか？ | <ul style="list-style-type: none">・製品に付属のインストール CD に収録されているタッチ スクリーン ドライバをインストールしてください。・タッチ スクリーン用の USB ケーブルまたは RS-232C ケーブルがコンピュータに接続されているか確認してください。・ご使用のコンピュータや付属品で、USB が使用できるようになっているか、または、RS-232C がサポートされているか確認してください。 |
|--|--|

ディスプレイ	17インチ (43.2cm) フラットパネルアクティブマトリックス-TFT LCD、Anti-Glareコーティング 17インチ表示可能 0.264mmドットピッチ	
同期信号入力	水平周波数	30~83kHz (自動)
	垂直周波数	56~75Hz (自動)
ビデオ入力	入力形態	セパレートTTL、ポジティブ/ネガティブ コンポジットTTL (ポジティブ/ネガティブ) SOG (Sync On Green)
	信号入力	15ピンD-Subコネクタ
解像度	入力形態	RGBアナログ (0.7Vp-p/75オーム)
	MAX	VESA 1280 x 1024@75Hz
	推奨	VESA 1280 x 1024@60Hz
プラグ&プレイ	DDC2B	
電力消費量	オンモード	: 35W
	スリープモード	≤ 2W
	オフモード	≤ 1W
外形寸法 (チルト・スタンド付)	立ち上げ状態	
		
	幅	39.80cm/15.67インチ
	高さ	39.00cm/15.35インチ
	奥行	22.80cm/ 8.98インチ
	折りたたみ状態	
		
	幅	39.80cm/15.67インチ
	高さ	11.76cm/ 4.63インチ
	奥行	32.90cm/12.95インチ
	正味	6.7 kg (14.77 ポンド)
チルトの動作範囲	傾きの範囲	-20°~140°
	高さの範囲	2.41 インチ(61.3mm)
	回転	90° 時計回り (横向き -> 縦向き)
入力電源	AC 100-240V~ 50/60Hz 1.0A	
環境条件	作業条件	
	温度	10°C to 35°C
	湿度	10% to 80% 無結露
	保管条件	
	温度	-20 to 60°C
	湿度	5% to 90% 無結露
チルトスタンド付き	連結 (), 独立 (O)	
信号ケーブル	連結 (), 独立 (O)	
電源コード	壁コンセントタイプまたはPCコンセントタイプ	

注意

- 本書の情報は、予告なしに変更することがあります。

プリセットモード (解像度)

17 インチ・モニター

	ディスプレイモード (解像度)		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	VGA	640 x 350	31.469	70
2	VGA	720 x 400	31.468	70
3	VGA	640 x 480	31.469	60
4	VESA	640 x 480	37.500	75
5	VESA	800 x 600	37.879	60
6	VESA	800 x 600	46.875	75
7	MAC	832 x 624	49.725	75
8	VESA	1024 x 768	48.363	60
9	VESA	1024 x 768	60.023	75
10	MAC	1152 x 870	68.681	75
11	VESA	1152 x 900	61.805	65
*12	VESA	1280 x 1024	63.981	60
13	VESA	1280 x 1024	79.976	75

* 推奨モード

インジケータ

モード	LED 色
オンモード	緑色
スリープモード	黄色
オフモード	オフ

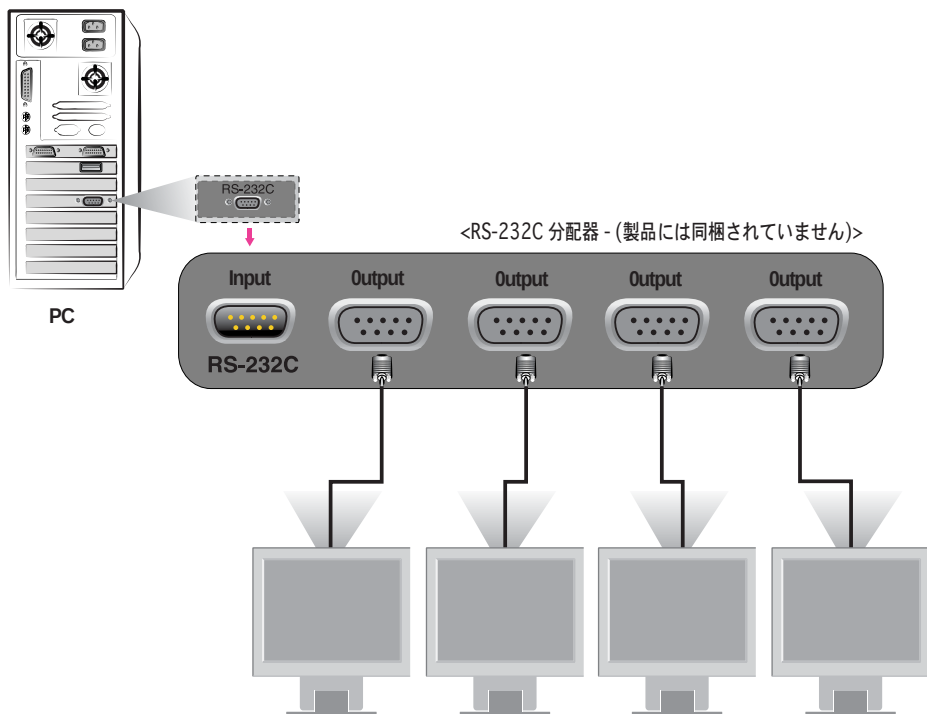
この方法で1台のコンピューターに複数のモニターを接続して一度に制御できます。

ケーブルの接続

図のようにRS-232Cのケーブルを接続します。

PCとモニターの通信にはRS-232Cのプロトコルを使用しています。

モニターのオン/オフや入力ソースの選択、OSDのメニューの調節をPCで設定できます。



通信パラメータ

- ▶ 送信速度 9600bps
- ▶ データ長 8ビット
- ▶ パリティビット：なし
- ▶ ストップビット：1ビット
- ▶ フロー管理：なし

コマンド参考リスト

	コマンド1	コマンド2	データ (16進法)
01. Power(電源)	k	a	0,1
04. Contrast(コントラスト)	k	g	0 - 64
05. Brightness(明るさ)	k	h	0 - 64
07. Color	k	u	0 - 2

送信/受信プロトコル

送信

[Command1][Command2][][Set ID][][Data][Cr]

- * [Command 1]: 最初のコマンド
- * [Command 2]: 2番目のコマンド
- * [Set ID]: Setup (設定) メニューでset IDを調節しご希望のモニターID番号を選択できます。調整範囲は0~99です。
SET IDで「0」を選択すると、接続された全てのモニターを操作できます。
Set IDは十進法 (0 ~99) でメニューに表示されます。
送信/受信プロトコルは十六進 (0x0~0x63) で表示されます。
- * [DATA]: コマンドデータを送信します。
コマンドの状況を読むには'FF'データを送信します。
- * [Cr]: 改行復帰
ASCIIコード '0x0D'
- * []: ASCIIコードスペース(0x20)'

OK承認

[Command2][][Set ID][][OK][Data][x]

- * モニターは通常 of データを受信するとこのフォーマットでACK (承認) を送信します。このとき、もしそのデータがデータリードモードの場合は現状のデータの状況を示しています。そのデータがデータライトモードの場合、PCコンピューターのデータを返します。

エラー承認

[Command2][][Set ID][][NG][Data][x]

- * 存在しない機能からの異常なデータや通信エラーのデータを受信すると、このフォーマットによりACK(承認)を送信します。
- データ 1: 不法なコード
2: この機能はサポートされていません。
3: 少しお待ちください。

送信/受信プロトコル

電源オン(コマンド:a)

- ▶ モニターの電源オン/オフを操作します。

送信

[k][a][][Set ID][][Data][Cr]

データ 0 : 電源オフ 1 : 電源オン

承認

[a][][Set ID][][OK][Data][x]

- ▶ 電源のオン/オフを示します。

送信

[k][a][][Set ID][][FF][Cr]

データ 0 : 電源尾オフ 1 : 電源オン

承認

[a][][Set ID][][OK][Data][x]

コントラスト(コマンド:g)

- ▶ スクリーンのコントラストを調節します。
コントラスト/輝度のメニューでもコントラストを調節できます。

送信

[k][g][][Set ID][][Data][Cr]

データ 最少 : 0 ~ 最大 : 64

- 次の「リアルデータマッピング」を参照してください。

承認

[g][][Set ID][][OK][Data][x]

* リアルデータマッピング

0 : ステップ 0

A : ステップ 10 (SET ID 10)

F : ステップ 15 (SET ID 15)

10 : ステップ 16 (SET ID 16)

64 : ステップ 100

送信/受信プロトコル

輝度(コマンド:h)

- ▶ スクリーンの輝度を調節します。
コントラスト/輝度のメニューでも輝度を調節できます。

送信

[k][h][][Set ID][][Data][Cr]

データ最少: 0 ~ 最大: 64

次の「リアルデータマッピング」を参照してください。

承認

[h][][Set ID][][OK][Data][x]

- * リアルデータマッピング
0: ステップ 0

A: ステップ 10 (SET ID 10)

F: ステップ 15 (SET ID 15)

10: ステップ 16 (SET ID 16)

64: ステップ 100

色調(コマンド:U)

- ▶ スクリーンの色調を調節します。
Color adjustment (カラー調節) メニューでもカラーを調節できます。

送信

[k][u][][Set ID][][Data][Cr]

データ 0: ユーザー

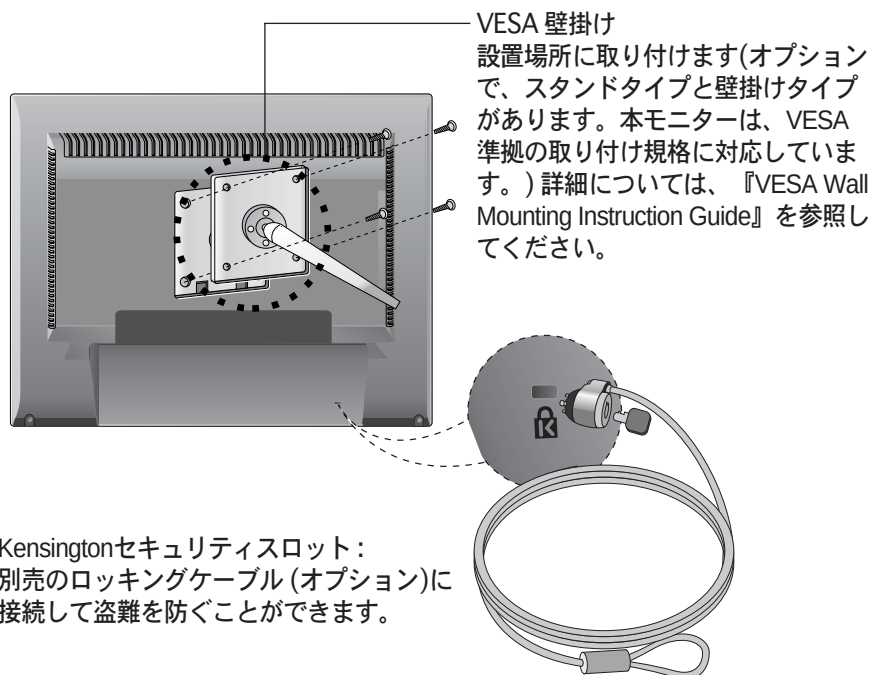
1: 6500K

2: 9300K

送信

[u][][Set ID][][OK][Data][x]

VESA標準壁面設置器具の取り付け方法



Digitally yours ■■■■■■■■■■

